



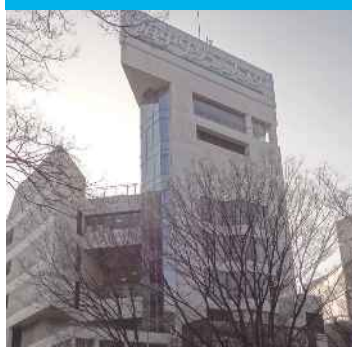
府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針

概要版

■ 公共施設マネジメントの取組

市は、約64万平方メートルの公共施設(道路、橋りょうを除く。)を保有し、多くの市民に利用されています。一方で、建設時から一定の期間を経過し、社会環境が変化の中で、①施設の老朽化、②健全財政の維持、③多様化する市民ニーズへの対応といった課題が生じています。

これらの課題を解決し、公共施設の適切な維持管理と有効活用を図るため、「公共施設マネジメント」の取組を進めており、平成26年8月に「第1次府中市公共施設マネジメント推進プラン」を策定しました。このプランでは、取組の推進力を高めるため「府中駅周辺施設の再編」をモデル事業の1つとして定めています。



■ 府中駅周辺公共施設の再編

モデル事業1「府中駅周辺施設の再編」は、用途や目的の異なる11施設を対象としています。各施設がそれぞれの課題に取り組むだけでなく、複数の施設を組み合わせることで、現状の課題解決にとどまらず、より効率的かつ効果的に施設を活用することが可能となります。この再編を通して、現在の市民ニーズを踏まえたより良いサービスの提供体制を整えます。

なお、再編を行うに当たって考慮すべきポイントを次のとおり基本方針として定めます。

■ 基本方針

府中駅前の更なるにぎわいを生み出す施設再編

市のシンボルであるけやき並木と調和を図りながら、府中駅前の更なるにぎわいの創出を目指します。

機能に着目した施設再編

施設の設置目的だけでなく、機能に着目した施設再編を目指します。

資産活用を図る施設再編

多様化するニーズに対応するとともに、新たな財源を確保するため、積極的な資産活用を進めます。

～将来のすがた～

この再編により、「まちの力(集客力、経済力、市民の力など)」と「行政の力(経営力、財政力、実行力など)」を高め、「みんなで創る 笑顔あふれる 住みよいまち」の実現につなげていきます。

みんなで創る

笑顔あふれる

住みよいまち



方策1 公民連携による府中駅前公共施設の新たな活用

方策2 機能向上や効率的な施設管理等を目指した移転及び統合

施設管理等を
目指した移転及び統合

府中グリーンプラザ分館

再編前	方向性	再編後
喫茶・福祉ショップ 「は～もにい」 リザちゃんショップ「けやき」 ギャラリー		喫茶・福祉ショップ 「は～もにい」 リザちゃんショップ「けやき」 機能廃止 府中駅北第2庁舎から移転
		府中特産品直売所 イベントスペース【新規設置】

各機能の連携による相乗効果で、集客力の増加や魅力の向上を図ります。

府中グリーンプラザ

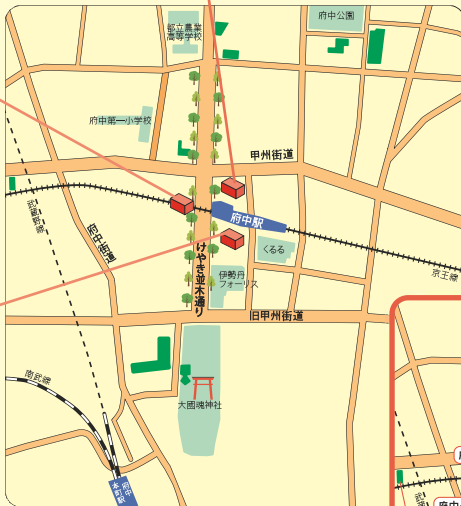
再編前	方向性	再編後
府中グリーンプラザ	建物は処分し、機能は他の公共施設で補充	建物や敷地の民間事業者による活用
NPO・ボランティア活動センター	府中駅南口新施設へ移転	

民間事業者による活用を図ることで、新たなにぎわいを生み出します。



府中駅南口新施設 (平成29年度開館予定)

- 府中市政情報センター【京王線府中駅構内から移転】
- 府中市市民活動センター【新規設置】
- NPO・ボランティア活動センター【府中グリーンプラザから移転】
- 国際交流サロン【府中駅北第2庁舎から一部移転】
- 消費生活相談室【女性センターから移転】
- 府中駅南自転車駐車場【新規設置】
- 府中の森芸術劇場分館【新規設置】



再編前の施設マップ

教育センター

再編前	方向性	再編後
教育センター	府中駅北第2庁舎へ移転	新たな市民ニーズに対応する場として活用

教育センターは、必要規模を検討のうえ、府中駅北第2庁舎へ移転し、現在の建物や敷地は新たな市民ニーズに対応するための場として活用します。

府中駅北第2庁舎

再編前	方向性	再編後
工業技術情報センター		工業技術情報センター
環境保全活動センター		環境保全活動センター
庁舎機能	新庁舎へ統合	
国際交流サロン	府中駅南口新施設へ一部移転	
府中特産品直売所	府中グリーンプラザ分館へ移転	
教育センター	教育センターから移転	教育センター 民間テナント【新規設置】

庁舎機能は、新庁舎の整備に伴い本庁舎と統合します。移転後の教育センターは、市民ニーズや利用実態などを踏まえ、機能の向上を図ります。また、民間事業者による活用も検討します。

ふるさと府中歴史館

再編前	方向性	再編後
ふるさと府中歴史館	新庁舎等へ移転	建物は解体し、敷地を活用
宮町図書館	一部機能を新庁舎へ移転 その他の機能は、中央図書館へ統合	

建物は解体し、府中らしさの残る良好な景観と環境を確保して、敷地の新たな活用を図ります。

庁舎

再編前	方向性	再編後
現庁舎	府中駅北第2庁舎の庁舎機能を統合	新庁舎
ふるさと府中歴史館	から一部機能を移転	ふるさと府中歴史館の一部機能
宮町図書館	から一部機能を移転	宮町図書館の一部機能

旧保健センター分館

再編前	方向性	再編後
事務室(暫定利用)	廃止	
	ふれあい会館から移転	事務室 (使用者)社会福祉協議会 シルバー人材センター
	ふれあい会館から移転	会議室

移転により駐車台数を確保する、施設へのアクセスを良くするなど、利便性の向上を図ります。

ふれあい会館

再編前	方向性	再編後
事務室 (使用者)社会福祉協議会 シルバー人材センター	旧保健センター分館へ移転	民間事業者による活用
会議室	旧保健センター分館へ移転	
ふれあい福祉相談室	機能廃止	

ふれあい会館は、旧保健センター分館へ移転し、現在の建物や敷地は、民間事業者からアイデアを募集し、収益性や事業の継続性、周辺環境への影響などを考慮したうえで、活用を図ります。



方策3 最適化と財源確保を両立する資産活用

方策4 運営の見直しによる資産活用

保健センター

再編前	方向性	再編後
保健センター	一部機能の運営見直し	保健センター

多様化するニーズへの対応を図り、市民の健康づくりを支えていくため、健康増進室の運営を見直し、多様な用途で利用できるスペースとして活用します。

市民会館・中央図書館(ルミエール府中)

再編前	方向性	再編後
市民会館		市民会館
中央図書館		中央図書館

より充実したサービスを提供するため、更なる運営の改善を図ります。複合施設の強みを生かして、それぞれの来館者を取り込む施設活用を図ります。



■ 主な施設再編の時期

平成29年度頃

- 府中駅南口新施設、開館
- NPO・ボランティア活動センター及び国際交流サロンの一部を府中駅南口新施設へ移転

平成30年度頃

- 府中グリーンプラザの建物は処分し、機能は他の公共施設で補完
- 府中グリーンプラザ分館の活用方法を変更
- 府中特産品直売所を府中グリーンプラザ分館へ移転
- ふれあい会館の機能を旧保健センター分館へ移転

平成34年度頃

- ふるさと府中歴史館及び宮町図書館の機能を、新庁舎や他施設へ移転及び統合
- 府中駅北第2庁舎の庁舎機能を新庁舎へ統合
- 教育センターの機能を府中駅北第2庁舎へ移転

※今後の取組状況に応じて、スケジュールは適宜見直します。

■ 方針の策定に当たって

市では、学識経験者や各種団体の代表者、公募市民により構成される協議会を設置し、「府中駅周辺施設の課題及び活用」や「まちづくりにつなげる施設再編」などについて検討を行いました。また、市民アンケートや施設利用者アンケート等を通して、幅広く意見を伺ってきました。

府中市では、公共施設マネジメントに取り組み、 総合的かつ長期的視点により経費とサービスの最適化を進めてまいります

公共施設を資産として捉え、活用を図るとともに、府中駅周辺のまちづくりと連動して進める本取組は、共にまちづくりを進める市民、また民間事業者の意見やアイデアを踏まえながら進めていく必要があります。具体的な活用策については、市民、利用者等との調整や、民間事業者に対する調査などを実施したうえで、今後、施設ごとに定めます。

なお、本方針に影響を及ぼす事由が発生した場合は、適宜、見直すこととします。

公共施設マネジメントの取組は、市のホームページ等でご覧いただけます。

検索ワード：府中市 公共施設マネジメント



発行

府中市 行政管理部 建築施設課

電話 (042)335-4358

E-mail kenchiku04@city.fuchu.tokyo.jp



ほっとするね 緑の府中

府中市